

■戌亥天中殺との人間関係

午未天中殺にとって、戌亥天中殺というのは、午未天中殺がもっている才能や良いところを見い出して、引っ張りあげてくれる相手になります。

とくに、仕事上での上司や同僚、得意先、信仰や芸事の師……といった人たちが戌亥天中殺の星をもっていると、午未天中殺がもっている良い面を引き出してくれるので、次第に一つの核の周囲に結晶してくる、といった形が出てきますけれど、その良さが出て来るまでには相当に長い時間がかかります。そこが問題なのです。5年や6年のつき合いではとてもとても……もっと長い時間がかかって、やっと良い結果に辿りつけるのです。

戌亥天中殺が午未天中殺を“引っ張りあげてくれる”というのは、物質的とか経済的に……という形ではなく、人生観、価値観、意識そのものの次元を高めて、午未天中殺の格そのものを引き上げるような精神的な面での力が大きいのです。

仕事上の上司が戌亥天中殺だとしますと、単に仕事がうまくいくというより、仕事に対する意識を変革してくれる……わけです。

午未天中殺の人が、単にお金を得るためにだけ働いているとしたら、そこに社会の役に立つ目的とか、仕事を通して多くの人に奉仕しよう……といった、仕事に対する別の価値観を与えてくれるのです。

午未天中殺自身の次元が高まると、不思議な事に、やっている仕事の価値も高いものになってくる……。だからこそ、引っ張り上げて呉れる相性だと言えるのです。

午未天中殺は「南方欠落」により「北方」へ傾くのが宿命的なのですが、それに対し、戌亥天中殺が「中央」の欠落ですから、お互いが別の次元に向かうという形ですから、分かり合いにくい関係なのです。今はタレントの長嶋一茂さん(午未)と、父親、元ジャイアント監督、長嶋茂雄さん(戌亥)がこの組み合わせです。一茂さんがヤクルトの選手として始めて、グラウンドに立った時、当時ヤクルトの監督だった関根潤三さんが「アレレ……チョーさん、せがれに何も教えてないな」……と評したことは、有名な話でした。事実、父親の、長嶋茂雄さんは息子にバットのスイングや守備の構えといった、具体的なものは何一つ教えていなかった……と言います。

戌亥天中殺が午未天中殺を引っ張り上げて呉れる相性だとは言え、問題は午未天中殺がこの長い時間を我慢できるかどうかが問題なのです。

効果がなかなか現れない上に、時間ばかりいたずらに経過して、午未天中殺はイライラするばかり……。ところが止めてしまうと、時間が経つにつれ、非常に大きなものを失った、損してしまった……という悲哀感が出て来る……戌亥天中殺と午未天中殺は、そういう関係なのです。

ですから、午未天中殺なら、一旦戌亥天中殺についたなら、戌亥天中殺を信じて、従って、ついて行く事が大切な事です。そうする事で、スケールの大きなものが午未天中殺に生まれて来るのです。

戌亥天中殺の両親とか兄弟姉妹というのは、その意味で悪くありません。

夫婦の場合は、途中で空中分解を起こさぬために、非常に忙しい生活を送るようになる宿命があります。